

環境工学委員会 委員公募

構造委員会では、下記の小委員会・ワーキンググループ委員を公募します。参加を希望される会員は募集要領に従いふるってご応募ください。

■募集要領

下記(1)(2)を作成のうえ E-mail にてご提出ください。

(1) 希望の委員会名

(2) 応募者について

① 会員番号、氏名、年齢、所属・職位、連絡先住所、同電話、E-mail アドレス、専門分野

② 現在、本会で所属している委員会の有無、応募中の委員会の有無（有の場合は委員会名を記すこと）

③ 希望委員会で果たせる役割

④ 希望委員会に関連する業績

委員任期 承認日～2015年3月

応募締切 2013年5月31日（金）必着

採否 委員会で決定のうえ本人に通知します。

提出先 事務局研究事業 G 榎本 E-mail : enomoto@aij.or.jp

●環境振動予測解析小委員会 [環境振動運営委員会]

主査／幹事 : 主査 石橋敏久 (鹿島建設)

幹事 山中祐一 (ジェイアール東日本建築設計事務所)

募集人数 : 若干名

設置期間 : 2013年4月～2015年3月

活動目的 : 環境振動の予測解析に関して、過去に「環境振動予測・解析の現状」(1999年)「環境振動予測のための資料集成」(2002年)といった資料集が編纂されたが、それから10数年を経て新しい環境振動問題や解析技術、予測手法も出てきている。

環境振動の振動源から受振点に至るまで、さらに実測や対策関係の文献を広く収集し予測解析・対策に関して、現状把握と問題点の抽出を行い、技術革新の道筋をつけるとともに、最終的には成果を会員に公表し、環境振動問題の解決に寄与することを目的とする。

●環境振動測定分析小委員会 [環境振動運営委員会]

主査／幹事 : 主査 富田隆太 (日本大学)

幹事 小谷朋央貴 (フジタ)

募集人数 : 1名

設置期間 : 2013年4月～2015年3月

活動目的 : 建物内における環境振動の測定・分析についての問題点などを抽出し、測定・分析

方法の検討を行う。また、委員会内で推奨する測定・分析方法を提案し、測定データの蓄積を行っていきたい。

●環境振動性能評価小委員会 [環境振動運営委員会]

主査／幹事 : 主査 松本泰尚 (埼玉大学)
幹事 新藤 智 (法政大学)

募集人数 : 2名

設置期間 : 2013年4月～2015年3月

活動目的 : 環境振動評価の現状や問題点の把握、および課題の抽出を行い、今後の環境振動評価のあり方を模索し、環境振動に関する性能評価手法の普及を図る。また、建築に関する国際規準にかかわる検討などを行う。

●バイオクライマティックデザイン小委員会 [熱環境運営委員会]

主査／幹事 : 主査 長谷川兼一 (秋田県立大学)
幹事 宇野朋子 (武庫川女子大学)・築山 祐子 (旭化成ホームズ)

募集人数 : 若干名

設置期間 : 2013年4月～2015年3月

活動目的 : 持続可能な建築や都市の実現のためには、地域に付与された自然環境ポテンシャルを活用する設計手法、つまりバイオクライマティックデザイン (BD) の確立が求められる。本委員会では、さまざまな気候条件における BD に関する研究や設計事例について、BD からの環境建築の評価を試み、各種パッシブ手法の効果分析、要素技術の頭語か手法、居住者の環境調整行動を考慮した設計手法の構築を目指す。また BD の普及のための啓発活動を行う。

●熱的快適性の適応モデルWG [熱環境運営委員会 バイオクライマティックデザイン小委員会]

主査／幹事 : 主査 リジャル H. B. (東京都市大学)
幹事 中谷岳史 (岐阜工業高等専門学校)

募集人数 : 1名

設置期間 : 2013年4月～2015年3月

活動目的 : 熱的快適性に関する ASHRAE (アメリカ暖房冷凍空調学会) や CEN (欧州標準化委員会) の「適応モデル」(アダプティブモデルともいう) に関する基準は、年間に渡る様々な地域と建物について現場調査した莫大なデータに基づいている。しかし、日本では現場研究が少ないため、日本各地の住宅やオフィスで熱的快適感調査を行い、莫大なデータ収集と統計的解析によって快適温度を明らかにし、高温多湿気候でも利用可能な適応モデルを提案する。